

# 群馬大学 理工学府・生体調節研究所

## 第25回 生命科学セミナー

共催 群馬大学理工学府「化学生物学プロジェクト」  
群馬大学ファイブバイオプロセス研究会  
「内分泌・代謝学」共同利用・共同研究拠点  
特別運営費交付金「生活習慣病の病態解明と分子標的探索」

平成30年9月19日(水)  
基礎中講堂 (医学部基礎講義棟1F)

15:00~16:00 花園 豊 先生

自治医科大学 先端医療技術開発センター センター長・教授  
「見えてきたゲノム編集技術の医療応用」

ゲノム編集技術は長足の進歩を遂げており、医療応用の可能性がすでに見えている。ゲノム編集治療の実現に向けた世界の研究の現状と課題、そして我々の試みを紹介したい。

16:00~16:10 休憩

16:10~16:35 鈴木 美和 先生

群馬大学 高度人材育成センター 研究員  
「微生物が分解するプラスチック ~時限生分解性高分子の創製を目指して~」

プラスチックごみによる環境汚染問題の解決策として、微生物が分解するプラスチック(生分解性プラスチック)が注目されている。本講演では、生分解性プラスチックに関する最新のニュースや、理想的な生分解性プラスチックの創製を目指した我々の研究を紹介する。

16:35~17:15 稲垣 毅 先生

群馬大学 生体調節研究所 代謝エピジェネティクス分野 教授  
「環境適応のエピゲノム制御」

細胞は外部環境の急激な変化に应答するとともに、長期の環境変化に適応するシステムを持っている。この環境適応の機構として、エピゲノム機構の一つであるヒストンメチル化修飾の制御因子が関与することを脂肪細胞系を用いて明らかにしたので報告する。



セミナー終了後、情報交換会を予定しておりますので、こちらにも是非ご参加ください。

会費: 2,000円(大学院生・学部学生は1,000円)

担当: 生調研: 畑田 (hatada@gunma-u.ac.jp) 理工: 行木 (nameki@gunma-u.ac.jp)